

バス業における激突災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
2	9~10	営業所構内に駐車しているバスの仕業点検中、エンジンの上部にある冷却水のキャップを開けようとしたが、バス後方の地面に段差があり、被災者の立っている位置がバスより約20cm低くなっており、手がキャップにギリギリ届くが作業しづらかった為、リアバンパーにのぼった。冷却水の有無の確認後、約85cm下の地面に飛び降りた際、着地に失敗し、負傷したもの。	56	100～299
2	21~22	バスを運行後、回送で戻り、所定の駐車場所へ停め、事務所へ向かっている途中に駐車場所のタイヤ止めに躓き、右足を捻った。帰宅したものの痛みで眠れず、翌日病院に行くと右足の裏部分を骨折していた。	54	500～999
3	6~7	車庫に於いて大型バス入口ドアを開ける時に、いつも朝エアが多少抜けている為すぐに開かないため、いつもと同様にドアのスイッチを入れ前輪の車止めを外し振り返った所、いつになく早くドアが開いた為、ドアの端が左顔面と目尻の横に当たり負傷した。	66	10～29
5	15~16	営業所構内にバスを駐車し、球切れしていた前照灯を交換し、点灯確認のため運転席に向かおうとバスのステップに右足をのせた際に踏み外してバランスを崩し、右手小指をステップの手摺に強打した。	38	100～299
5	19~20	車庫に帰庫後、一度車両後方まで車内点検を行った後運転席に戻り運賃箱横に置いていたカバンを取ろうとした際、足がもつれ右腕を運転席横の手摺りにぶつけた。	43	300～499
6	7~8	営業所入口付近で、バス誘導の為、急いで所内から外へ出ようとした時、入口自動ドア（ガラス）が開ききる前であることに気付かず、通過しようとし、顔を自動ド	51	50～

		アに接触させた。		99
6	9~10	走行中、エンジントラブルにより側道に停車し、発煙筒を点火しに行く時、危険行為をしていた子供を助けた時にネットに足をとられ、ネットから足を外すため強く引っ張った時、路面に強く打ちつけた。	51	1~9
7	8~9	駅でお客扱い終了後、バス停にいた方よりバスの止め方について注意された事について、イライラして来たため運転席後ろの広告板に右手甲で殴打し、右第4、第5CM関節脱臼骨折右有鈎骨骨折となった。	34	~50 99
7	12~13	バス駐車後（乗客なし）、運転席ドアから降車した時右足かかとを地面に強打した。該当車両が他の車両に比べ車高が高いため、ステップに足を掛けて降りるべきところを、掛けずに飛び降りる格好となった。	67	~10 29
7	14~15	車内事故防止教習として、目を閉じながら立った姿勢での急停止体感教習を行った際、事前に注意喚起をした上で助役がバスを発車し、約30kmの直進状態から軽くハンドルを右に切り、急停車を試みた際、つり革から手を離してしまい、前方のガード棒に左脇腹を打った。	55	~50 99
9	12~13	営業所の2階休憩室から階段を下りている際、全ての段を下りたと勘違いして1段見落としてしまい左足の着地を誤り受傷したもの。軽い捻挫と思い業務を継続したが、終業後も痛みが引かないため救急担当の病院を受診した。	46	~30 49
9	10~11	乗客名簿が違うことに気づき、バスに乗り込み乗務員と名簿を交換、出発の時間が迫っていたので、急いでバスから降車し、ステップから飛び降りたところ、膝にダメージを受けた。	38	~100 299
10	7~8	養護学校の介助職として大型バスに乗車し、朝一番に乗られる生徒のバス停に回送進行中、渋滞にて停止する際にバランスを崩し座席から転げて床等に頭を当て負傷する。頭痛がひどくなった。	71	~100 299
11	13~14	1泊2日の旅行の第1日目でバスを駐車させようと、バス乗降口のステップに立ち、右手で手すりを掴み、空いている所を探していた際、運転士が右に緩やかにハンドルをきった時、空いている場所があったため、再度ハンドルを右にきった時、右手が手すりから離れドアにぶつかり負傷した。	27	~100 299

11	17~ 18	車内確認後に運転席へ戻ろうとした際、運転席上のサンバイザー付け根部分が緩んでおり、数年前から修理改善要望が出ていたにもかかわらず改善されず、90度の角度に紐で吊り下げた状態となっていた為、振り返った時に左眼をサンバイザーの角で強打し負傷してしまった。	46	100 ~ 299
12	14~15	当該被災者は、乗務中、当日担当している車両に不具合が発生したため、営業所へ帰営し、車両の乗り換えの際、右肩に私物バッグを提げ、左足を前扉ステップに掛けようとしたところ、足を踏み外し負傷した。	43	100 ~ 299

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html